

# たいわ 町議会だより



願いが、かないますように

町民ニーズの多様化にこたえて組織編成

2～3ページ

黒川病院産科の継続を など 一般質問者13名

5～18ページ

研修レポート（広報編集委員会「石川県津幡町」）

19ページ

# にこたえます



## 6月定例会

(会期 6月7日～11日)

### 内 容

条例の改正や補正予算、人事案件を慎重に審議しました。  
一般質問は13人の議員が、町の対応や考えを問いました。

#### 課設置条例

#### 役場組織の変更

(10月1日から)

#### 変更のない課・班

○財政課 (財務班、契約検査班)

○産業振興課

(農林振興班、商工・観光振興班、

企業立 地推進班)

○上下水道課 (総務班、工務班)

○会計課 (会計班)

○生涯学習課 (生涯学習班、体育振

興班、文化財班)

○議会事務局 (議事班)

条 例	結果	賛:反
大震災の被災者に対する国保税減免の条例	可決	17:0
復興産業集積区の固定資産税減免の条例	可決	17:0
課設置条例	可決	17:0
印鑑登録及び証明の条例の一部改正	可決	17:0
保健福祉総合センター条例の一部改正	可決	17:0
補正予算	結果	賛:反
一般会計	可決	17:0
国民健康保険特別会計	可決	17:0
落合財産区特別会計	可決	17:0
水道事業特別会計	可決	17:0
その他	結果	賛:反
後期高齢者広域連合規約の変更	可決	17:0
人権擁護委員の選任	適任	17:0
基地対策予算の増額を求める意見書	可決	16:1
震災被災者の医療費自己負担免除を求める意見書	可決	17:0

# 町民ニーズの多様化



変更のある課・班 (■新設される課・班)

総務まちづくり課 → ○総務課

(総務班、秘書人事班、広報班)

○まちづくり政策課

(政策企画班、まちづくり班)

○危機対策室 (危機対策班)

町民課 → ○町民生活課

(窓口サービス班、国保・年金班、生活環境班)

保健福祉課 → ○保健福祉課 (福祉班、長寿・介護班、地域包括支援班、健康づくり班)

○子育て支援課 (子ども支援班、子育て支援班)

税務課 → ○税務課 (住民税務班、固定資産税班)

○徴収対策室 (徴収対策班)

教育総務課 → ○教育総務課 (総務班、学校教育班)

都市建設課 → ○都市建設課 (総務班、建設班、都市整備班)

環境生活課 (廃止)



# 補正予算 質疑

一般会計 8249万2000円 追加



大和町産のおいしいシイタケ、安心して食べてくださいね

## 主な補正予算による事業

- ・小型動力ポンプ付軽積載車購入(1台) 437万円
- ・交通ターミナル待合室施工監理委託 113万円
- ・東日本大震災復旧工事費(教育施設) 350万円

**放射能は大丈夫か**  
**議員** セシウムが出たということ、皆さんが神経質になっている。本町のシイタケは、ハウスの中で作っているのでもセシウムは出てないが、原木シイタケにセシウムが出たということ、風評被害が出て、販売が大分落ちている。商工会と町、地域振興公社が一体となり、風評被害の対策をとらなければならぬのでは。  
**産業振興課長** 県のホームページで、基準値を超えたものを公表している。農協を通じて販売している方は、東京電力に補償を求めてもらう。それ以外は県でまとめる。  
**議員** 風評被害だが、セシウムがないと言っても、消費者はキノコ類を敬遠してしまう。消費者に、「大丈夫です」と強くアピールして、風評被害で困らない対策を取っていただきたい。

**手当でじゃなく代休に**  
**議員** 5月の3日、4日の水害時の時間外勤務は、一番多い職員で何時間だったのか。平均は何時間か。  
**総務まちづくり課長** 一番多い方の時間外は、12時間である。平均的な時間数は、8.6時間である。  
**議員** 時間外勤務手当の補正が167万円とあるが、全部手当にあてられているのか、代休に振り替えることは検討しているのか。  
**総務まちづくり課長** 現在も土日の行事の間外は、ほとんど代休扱いである。今回は、災害対策本部を設置し、応急修理、避難所運営ということで、時間外手当を支払った。

**電算システムの入れ替え**  
**議員** 電算管理運営費の225万円は、臨時キーパンチャーを雇うとあるが、具体的な作業の内容及び必要性は。  
**総務まちづくり課長** 外国人登録法の改正により、電算システムの入れかえを今、行っている。旧システム、新システムと併用するため、臨時事務職員を3か月間雇用する。  
**集会所の修理費**  
**議員** 落合財産区会計から出ている、集会所修繕費・改修費の総枠はいくらか。また、工事費に対する補助金は。  
**財政課長** 補助金は、事業費100万円以内の3分の1という助成基準があつたが、今回の震災により、10%以上乗せして助成した。  
三ヶ内地区は、総事業費で95万2000円。舞野地区は、225万7000円(補助対象は100万円)、松坂地区は85万7000円、上桧和田地区は24万2000円であつた。  
**議員** 他の地区ではないのか。  
**財政課長** 通常の維持修繕で対応しているが、震災関係で町に申請あつたものはない。

一般質問 「ここが聞きたい、これを言いたい」

# 町政を問う

13名の議員が、町長と教育長に質問



ほりごめ ひでこ 議員  
1. 堀籠 日出子 議員  
少子化対策に黒川病院産科の継続を  
他 1 件 (6 ページ)



つきた まさゆき 議員  
8. 槻田 雅之 議員  
防犯灯のLED化に関して  
他 2 件 (13 ページ)



わたなべ よしお 議員  
2. 渡辺 良雄 議員  
「大和町防災無線」について、放送が  
聞こえない地域の解消と放送内容の改  
善を図れないか 他 1 件 (7 ページ)



いとう まさる 議員  
9. 伊藤 勝 議員  
防災対策の見直しに係る男女  
共同参画の推進について  
他 2 件 (14 ページ)



ちさか やすはる 議員  
3. 千坂 裕春 議員  
防災の観点から東日本大震災の検  
証を求む 他 2 件 (8 ページ)



こんの よしゆき 議員  
10. 今野 善行 議員  
農業振興方策について  
他 1 件 (15 ページ)



あさの としひこ 議員  
4. 浅野 俊彦 議員  
本町として公立大学法人『宮城大  
学』と連携強化を図るべきでは  
他 1 件 (9 ページ)



なかがわ ひさお 議員  
11. 中川 久男 議員  
大和町子育て支援センターの進捗  
状況について  
他 2 件 (16 ページ)



まつうら たかお 議員  
5. 松浦 隆夫 議員  
県道「仙台・大衡線」の本町分  
の整備計画の見通しは  
(10 ページ)



ふじまき ひろし 議員  
12. 藤巻 博史 議員  
町民バス、一律 100 円に  
(17 ページ)



ひらわし たかし 議員  
6. 平渡 高志 議員  
下草大橋(仮称)の実現は  
他 1 件 (11 ページ)



たかひら としお 議員  
13. 高平 聡雄 議員  
今後の公共施設修繕コストの  
シミュレーションについて  
他 2 件 (18 ページ)



まつかわ としみつ 議員  
7. 松川 利充 議員  
自然災害対策について  
他 1 件 (12 ページ)

# 産科休止で妊婦ショック

## 町長 産科医確保につとめる



議員 小出ひでこ  
掘ほりごめ

**議員** 近年は、本町のみならず近隣町村においても、企業進出などで若い世代の転入者が多く、人口が増加している。しかし、地域の中核医療機関である「公立黒川病院」が産科医不足の理由で、8月1日から、産科が休止となる。子どもを産み育てる世代にとっては、大きな不安材料となる。産科休止となるまで、どのような検討がされたのか。

**町長** 東北大学病院や地域医療協会などに医師派遣をお願いしている。

**議員** 長期にわたり産科休止が続くのであれば、院内助産所開設はできないのか。

**町長** 助産師での分娩はリスクが伴うため難しい。

**議員** 病院では、妊婦を仙

台の病院に紹介しているが、妊婦検診のたびに仙台まで、心労と時間と経費がかかる。タクシー利用券を交付してはどうか。

**町長** タクシー利用券は考えていない。

### 一般質問

## 相次ぐ複式学級の対策は

### 町長 子育て支援住宅を調査研究

**議員** 企業立地により吉岡、杜の丘団地の人口は増加しているが、吉田、宮床、落合、鶴巣地区の人口は減少し、特に児童の減少が激しく、複式学級となる学校が出てきているが対策は。

**町長** 若い世代の流出抑止と、新住民の定住化を基本とし、自宅から通勤できる職住近接の環境づくりと更なる企業誘致に努める。

**議員** 町外から子どもを持つ世帯に転入していただき、



元気に生まれてきてね

児童増加と地域の活性化を図る、子育て支援住宅を進めてはどうか。

**町長** 子育て支援住宅などは期待できるので、事例や効果を調査研究する。

# 防災無線放送が聞こえない

## 町長 今年度中に改善する

**議員** もみじヶ丘地域では防災無線が、震災後「非常に聞こえにくい」、杜の丘地区は「全く聞こえない」との声が多数ある。町内の他の地区を含め調査検討を望む。

**町長** 震災前は騒音であるとの苦情が多く寄せられていたため、音量を下げていた子局もあったが、災害発生後は設計値に戻して通信状態の確保を図っている。そして、今年度中に杜の丘三峰、吉岡第二、松坂平地区の4箇所の子局を移設設置する予定である。

今年4月から携帯電話による防災広報メールサービスを開始させた。町民の皆様に登録・利用していただけるようPRしていきたい。

**議員** 5月3日の大雨の時、防災無線による避難指示が対象地域だけだった。他の地域において、情報を知らずに避難指示の出ている地域へ向かう人、あるいは帰宅する方がいる。改善すべきでは。

**町長** 過去にも、避難対象の地域のみ放送を行っていた。改善する。

## 学校給食の放射線測定は 教育長 6月11日から検査する



安心して食べてね

**議員** 食品の放射性分質検査器が配備された。いつ頃から運用を行うのか。

**教育長** 消費者庁から配備された「ベクレル分析装置」を使って、6月11日から検査する。月水金は保育所給食、火木は学校給食センターの食材を検査する。万

一検出された場合は、速やかに代替え食材での給食を用意する。

**議員** いつまで検査するのか。

**教育長** 消費者庁から配備された機材は1年間の貸し出しとなっている。引き続き貸し出しを要望し、検査

を継続していきたい。

**議員** 今年3月に文科省でも測定器を開発するとの新聞発表があったが、文科省の配備計画はないのか。

**教育長** 現在配備の計画は聞いていない。



お 雄 議員  
よ 良  
な 辺  
わた 渡



議員 春 裕 坂 千

# 過疎化対策に取り組み

## 町長 若者の定住化に取り組む

**議員** 宮床・吉田・鶴巢・落合地区の児童減少が見られる。小学校統廃合にならないよう、早期の積極的な対策を求める。

**町長** 宮城県の推計人口が下方に修正され、新たな住宅地の開発は認められない。町内に働く場所や、自宅から通勤できる職住近接の環境を創ることで、若年世代の地域外への流出抑制と新住民の定住化を基本と考える。さらに、保育所を新設し、中学生までの通院及び入院費用を助成する「あんしん子育て医療費助成事業」などで、若年世代の定住化に取り組む。



せまい道でもスイスイ

## 防火水槽への進入路を確保せよ 町長 小型動力ポンプ付き積載車で対応

**議員** 防火水槽への道が狭い。火災時に支障を生じると思われる道路がある。拡張すべきでは。

**町長** 進入路は、町道の認定要件を満たしておらず、難しい。現在各分団に小型動力ポンプ付積載車の導入を進めている。各分団に1台ずつ配備を完了した。今後も導入を続ける。

## 東日本大震災の検証を

### 町長 記録を取りまとめ中

**議員** 対策本部設置・避難所・被災者の対応の検証は。

被害復旧制度により、被災者の復旧に向けた対応を行った。東日本大震災の記録を取りまとめ中である。

**町長** 対策本部は、1か月間、毎日朝と夕方に開催し、本年3月末で解散した。避難所は、8箇所設置、1168名の方が避難した。被災者の対応は、一人暮らし高齢者への食料配布、生活再建支援窓口の設置をはじめ、各種

被災者支援窓口の設置をはじめ、各種

68名の方が避難した。被災者の対応は、一人暮らし高齢者への食料配布、生活再建支援窓口の設置をはじめ、各種

**議員** 復旧・復興の計画と進み具合は。

**町長** 学校・体育館・まほろばホールなど、復旧を完了した。順次工事の発注を行ったが、業者不足・資材調達困難により、現在も施

工中である。すべてが、完了するのは、平成25年3月とみる。

**議員** 河川現状を示せ。

**町長** 被災箇所は、平成24年度中に復旧する見通しである。河川改修が進むことにより、吉田川の流下能力が増し、河川の安全性が向上すると期待する。

# 宮城大学と連携を図れ

## 町長 連携強化を検討する

**議員** 第四次総合計画の実施にあたり、古い慣習にとらわれない客観的な調査・研究も必要で、宮城大学との連携強化は効果的と考えられる。宮城大学には看護学部のほか、事業構想学部、食産業学部、地域振興事業部があり、『中央商店街にぎわいプロジェクト』での調査・研究『大和の食づくろ』の商品化推進（ブランド構築、農商工連携による六次産業化を目指す）などの連携を提案する。現在の連携状況、今後の連携可能な課題は。

**町長** 本町では宮城大学や東北福祉大学の看護系学生を受け入れており、保健事業への参加、健康教室の企画、生涯学習の各種講座の講師や助言を頂いている。食育推進計画、自殺予防対策などにもアドバイスを頂き、計画書作成に大きな成果を上げている。大学とは良好な連携関係にあるが、第四次総合計画実施において、具体的な課題はない。

## 従来地域の活性化を急げ

### 町長 事例や効果を調査・研究



頼れるパートナー（宮城大学）

**議員** 市街地整備により本の町の人口は順調に増加している。一方、従来地域（宮床、吉田、鶴巢、落合、吉岡旧市街）では少子・高齢化が進み、就労世代と小・中学生の減少による地域の活力低下が懸念される。環境保全、防犯、文化継承の観点から『子育て支援住宅整備』などの新住民定住化の対策が急務と考える。

町外から南川ダム周辺などの従来地域を選択された方もいる。その方々から利点と欠点をヒアリングし、小規模、多地域での実施に向け、前向きな検討を急いでほしい。従来地域の活性化策は。

**町長** 従来地域の人口減少対策としては、若年世代の地域外流出抑制、新住民の定住化を基本と考える。し

かし、新市街地が居住地として選択されている。企業誘致による職住近接環境整備、生活交通の維持、高齢者への見守りサービス、伝統文化の継承、特産品による地域おこしなど地域の実情に応じた活性化策を検討したい。

『子育て支援住宅整備』は、他市町村での実施事例や効果を調査研究している。



議員 彦 俊 野 浅

# 県道「仙台・大衡線」の 見通しは

## 町長 関係町村と要望活動をする



まつ 松  
うら 浦  
たか 隆  
お 夫 議員

**議員** 県道「仙台・大衡線」は、通勤・通学、日常生活、産業振興上、重要な路線である。本町分の宮床工区（宮床中学校～宮床山田）は、平成28年までの整備予定であると承知している。東日本大震災の影響により、県の整備計画に変更はないか。現在、町で承知している整備計画の内容は。

**町長** 小野工区は、暫定2車線とし、本年度中に開通する見通し、宮床中学校以北は、県に要望をしてきた。平成24年3月に、宮床工区として整備計画が明示され、平成29年度までの6年間で整備を行うとしている。

**議員** 宮床工区以北（宮床山田～国道457号～吉岡

西原～大衡村）までの経路は、第二仙台北部中核工業団地と結び、通勤など産業振興の重要な路線となる。宮床工区以北の整備・要望の考えは。

**町長** 宮床工区以北は、国道457号の現道に接続するため、吉岡西側から大衡村までの区間、26kmが未整備として残ることになる。今後も関係町村と足並みをそろえ、一層の整備促進を図っていく。



もうすぐ開通（宮床小野）

# 下草大橋(仮称)の実現は

## 町長 現段階では難しい

**議員** 下草大橋は県営土地改良事業の一環として計画され、当時の大和東部土地改良区の下草地区と、富谷北部土地改良区の舞野地区を結ぶ幹線道路としての重要な橋である。この橋りょう架設事業は、平成12年に調査をし、平成14年度策定の実施計画には、平成16年度基礎調査と予算計画がなされ、平成19年度には完成する予定であったが、未だに実現がされていないのはなぜか。また、建設される見込みはあるのか。

**町長** 建設計画の採択基準が大きく変わり、採択されなかった。その後の、大型事業や厳しい財政事情により、実現ができなかった。農道整備としては大変難しいので、道路整備の位置づけを明確にし、課題の整理を行っていく。

## 非常用袋を高齢者に配布しては

### 町長 家庭の備蓄は有償で



せまくて不便(堰下橋)



議員 高志 渡 平

### 一般質問

**議員** 昨年の大震災以来、地震・大雨によって河川周辺の住民は、避難指示が2回も出ている。今後の大災害に対処する施策として、

高齢者世帯に非常食・水・懐中電灯等を備えた非常用袋を無償で配布しては。  
**町長** 現在、非常用の備蓄セットは有償で町が幹旋し

ている。高齢者世帯は、地域の方々全員で助け合うよう、避難所の充実や自主防災組織の充実に取り組んでいく。

# 自然災害への対策は

## 町長 生命・財産に被害が出ないように努める



まつ かわ とし みつ 議員  
松 川 利 充

**議員** 5月6日に北関東の巨大な竜巻は、同時に数箇所発生して、各地に大きな被害をもたらした。ひょうや落雷も発生している。また、異常気象によると思われる集中豪雨、竜巻が多く発生している。

町民の生命・財産を守るため、突発的な竜巻などの自然災害への対策・対応は、**町長** 本町では、昨年9月の台風15号や今年5月の低気圧による暴風など、大きな災害が続けざまに発生している。竜巻の発生予測は難しく、いつでも逃げられる準備をしておくことが一番である。大雨や集中豪雨はテレメーターの河川水位の監視と、ダムの流入量の

### 一般質問

データにより、事前に災害対策本部などを立ち上げて、町民の生命や財産に被害が出ないように努める。避難方法は、広報を活用して町民皆様に知らせる。

## 歩行者の交通安全対策は

### 町長 道路管理を徹底する

**議員** 京都府亀岡市の事故のように最近、暴走や居眠り運転などにより、多数の死傷者を出す交通事故が起きている。児童生徒や歩行者を守るため、事故を防ぐにはどのような対策が必要か。町長・教育長の考えは、

**町長** 事故の原因が、道路の構造や維持管理の不備によるものではないにしろ、道路管理者として、日常の点検を行うことは当然であり、安全管理を徹底することが義務であると感じている。

**教育長** この度の事故を受け、各学校に対し、安全登下校を重ねて指導すると同時に、学校における防災上の危険箇所と合わせて、道路の点検を実施する。



通常時



増水時

こけいじ 悟溪寺橋より上流を望む(吉田川)

# 防犯灯をLEDへ

## 町長 年次計画を立て整備

**議員** もみじヶ丘団地の防犯灯は白熱球を使用している箇所が多く全体的に暗い。明るさ・CO2削減・省エネ・長寿命化から、LEDへ交換すべきではないか。

**町長** 現在、防犯灯は2033灯あり、平成22年度には、731灯を交換した。夜間の照明確保は、安全で快適な生活を送る上で必要である。平成27年度までの5か年計画により、更新を行う。



議員 之 雅 田 槻

## コンビニで税の納入を 町長 すぐは無理



明るく、省エネなLED灯へ

杜の丘の防災は  
町長 十分認識している

**議員** 杜の丘地区には防災無線が無い。災害時の連絡方法は。

**町長** 防災無線を、今年度中に設置する計画である。また、災害メールサービスの登録者を増やす。

**議員** 杜の丘地区の避難所はどのように考えているのか。

**町長** 今後、さらに人口の増加が見込まれていることから、防災機能を備えたコミュニティセンターの建設の必要性を、十分認識している。

**議員** 税金の滞納者に対する徴収は、どのように行っているのか。

**町長** 納税貯蓄組合や口座振替、夜間窓口を活用した納入の推進・収納の確保に努めている。滞納者には、臨戸訪問を実施している。高額滞納者は、県滞納整理

機構へお願いをしている。

**議員** 全国的にもコンビニ納付を実施している自治体が増えており、効果が上がっている。住民サービスの向上と、滞納者を減らすため導入しては。

**町長** コンビニ収納を導入する場合、電算処理システ

ム変更に必要な経費や、コンビニ手数料（1件当たり55円〜65円）が必要となる。現状でのシステム変更よりも、新たな機器を導入してのシステム構築を検討している。当面は口座振替制度の普及拡大を図る。



伊藤 まさる 議員

# 防災会議に女性委員を

## 町長 今後の課題として考える

**議員** 内閣府と消防庁は、地方防災会議への女性の登用推進を求める通知を送付した。町防災会議委員に女性を登用し、避難所運営で活かしては。

**町長** 大和町の防災会議委員は条例で25人以内と規定しており、町長が委嘱・任命する。女性は教育長1人だけである。女性ならではの考え方や視点があると思うので、女性委員の委嘱は今後の課題とする。

**議員** 地域の防災、減災対策は協議しているのか。

**町長** 救急車や消防車が入っていけないような場所もないし、消火栓や防火貯水槽も完備しているの、減災対策は協議していない。



台風・大雨の災害（吉田川）

## 吉田川の危険箇所を調べよ

### 町長 河川整備の要望を継続

**議員** 昨年9月の台風15号、本年5月3日の大雨で、2度の避難指示に至った。幸いにも人命に損傷は無かったが、今後もゲリラ豪雨、竜巻などの自然災害の猛威に住民の安全・安心に備えなければならぬ。今後の対策は。

**町長** 北上川下流河川事務所からの水位情報や、仙台地方ダム総合事務所からのダム情報などを総合的に判断し、最新の基準水位に照らし合わせ、避難指示の発令を行なう。国・県管理分はエリアが広く、全箇所の被災状況を把握していない

### 空き家の解体に助成を町長 導入は難しい

**議員** 空き家、空き地など放置されると、放火や自然倒壊の危険、ごみの不法投棄、白アリの繁殖など、衛生上の問題も懸念される。

**町長** 大震災により、被災家屋の調査を行っていたが、不在地主のため、危険であるにもかかわらず、そのまま放置されている。所有者に対し、解体などを促している。町独自の助成は、色々なケースが考えられるので、導入は大変難しい。

ため、地域住民や区長を通じて、情報の提供を受けている。国道4号線高田橋から上流の調査・総点検を実施すべきとあるが、現状は国・県が既に把握している。今後も、河川整備を要望する。

# 農業経営の安定化を

## 町長 『元気な農業』を目指す

**議員** 農業をめぐる情勢は、大変厳しい。本町では、第4次総合計画で、農業を基幹産業として位置付けその振興を図るとしている。その意味では、地産地消や6次産業化への発展性を視野に構築することによって地域経済の活性化につながる。長期総合計画で『農用地の集積や担い手の育成等により農業経営の安定化を図る』としているが、その経営規模や経営形態はどのようなものを想定し導こうと

しているのか。具体的なアクションプラン（行動計画実践計画）は。  
**町長** これまでも担い手の育成や集落営農の推進に取り組んできている。昨年10月に示された「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」をふまえ、本町の目指す『元気な農業』の実現に取り組んでいく。

## 学校給食における放射能対策は万全か

### 教育長 定期的に検査する



がんばっている農業経営



議員 行善 野今

**議員** 学校給食は、万が一にも放射能汚染食材を使用し、児童の健康を害してはならない。学校給食では10ベクレル以下が望ましいという識者がいるようであるが、本町としての基準を設定し放射性物質の検査をし

ているのか。  
**教育長** 厚労省の「食品衛生法に基づく食品中の放射線物質に関する新規制値」にもとづき、消費者庁より配備された放射性物質検査器（ベクレル分析装置）を使用し、週2回給食配膳前

に検査して公表をする。また、予約制により家庭で栽培された野菜など農産物（購入した食品や販売目的のものは対象外）の食品中の放射性物質の測定も行う。



なかがわ ひさお 議員  
中川 久男

# 障がい者の相談支援は

## 町長 支援体制の整備を図る

**議員** 障がい児(者)の相談事業強化を受け、サービス計画を作成するのは、市町村が指定した相談支援事業所になる。福祉の現状を把握し、より良い子育て支援センターとして、町の考えは。

**町長** 障がい者相談支援事業は、黒川4町村で宮城県社会福祉協議会に委託し、「ぱれっとよしおか」が実務を行う。

今後は、大和町保育所の民営化を契機に、さらなる安心・サービスの提供に向けた子育て支援体制の整備を図る。



放課後まってるよ～(吉岡児童館)

## 障がい児の放課後の行き先は

### 町長 児童クラブで交流

**議員** 大和町内の小学校特別支援学級に通っている生徒のうち、児童保育に通っている子どもたちは何人いるのか。この現状を町としてどのように考えているのか伺う。

**町長** 本年4月1日現在、児

童館全体での児童クラブ加入登録者は183名、準児童クラブが144名となっている。児童館における放課後児童クラブは、小学校放課後から夕方午後6時30分までと、準児童クラブが午後5時までお預かりしている。日中保護者

ひだまりの丘の

活用は

**町長 福祉の現場として**

**議員** 大和町保健福祉総合センター(ひだまりの丘)の活用についての考えは。

**町長** 健康福祉、子育て支援それぞれの事業活動を低下させることなく、役場庁舎内の「事務」と「現場のひだまり」と言う明確な区分の中で、保健福祉課並びに子育て支援課(仮称)両課の事業活動拠点施設として、将来に向けて幅広く多くの方々に活用される施設になるよう努力する。

が就労などで不在となっている家庭状況がある小学校低学年児童などが登録されている。障がい児の情操教育という観点から見ても、地域の子どもたちと触れ合うことは有意義なことと考えている。

# 町民バス、一律100円に

## 町長 今の料金のまま

**議員** 町民バスは、吉岡地区内で乗降完結する使用料

した。

は、100円、それ以外は200円（一般）となっている。年間の利用者数と、

現在は、バス4台、9路線で運行しており、平成23年度の利用者総数は1万9324人であった。小学生は647人、大人は1万4476人、大人・吉岡区間内（100円）が546人となる。無料の未就学児・障害者などの利用者は3655人いる。

町民バスは、地域住民の皆様のお足として、通院・通学等の交通弱者対策として運行をしている。

使用料に差をつけた理由は、

**町長** 平成14年7月から、

大人の使用料金を200円で運行している。また「吉岡循環線1・2」を新設し、

使用料金は 大人が100円、中学生以下は無料とした。

平成16年4月に、「吉岡循環線」を廃止し、吉岡町内線は他の路線で運行し、

使用料金は大人100円と

使用料は、通常区間利用は一律大人200円という

考えであったが、距離の短い吉岡区間内（完結）について半額の100円とした。



議員 史 博 ひろ まき ふじ 藤



なくてはならない、町民の足



議員 高 平 とし お 雄  
たか ひら とし お 雄 議員

# 公共物の修繕コストを示せ

## 町長 新公会計制度の中で検討する

**議員** 公共施設の維持費、人件費、修繕費は毎年町の予算の大きな比重を占めている。老朽化の度合い、修繕コストの見通しが整理されていない現状では、今後の財政負担に強い危惧を覚える。老朽化比率や修繕シミュレーションを早急に示せ。

**町長** 国は、地方団体の公共施設・インフラ資産の更新需要が将来の大きな負担になることから、昨年10月全国調査が行われた。築30年以上経過した割合で本町は10・1%だった。資産老朽化比率は、減価償却費の割合で判断基準を定めるもので、新公会計制度の関連で検討する。



さあ～、帰ろう

## 小規模校の教育環境の向上

### 町長 地域の教育力を活かす

**議員** 吉岡、小野を除く各小学校は近年の入学人数は数名～十数名で一部は複式学級となっている。小学校の適正規模は、12学級～18学級が標準とされている。児童数の多少によって、教育環境の格差があるのでは

ないか。小規模校のデメリットとそれを補う対策は何か。また、学区の見直しを行う考えはあるのか。  
**町長** 本町の各小学校区では地域の高い教育力を維持しており、地域を生かした学習効果を得ている。小規

### スクールバスで安全確保 教育長 小学生の利用、慎重に検討

**議員** 企業立地による交通量増加や、地域の環境変化もある。小学生の安全通学対策としてバス利用を実現すべきでないか。また、中学生の利用エリアの見直しも必要ではないか。  
**教育長** 小学生のスクールバス利用は、教育委員会として慎重に検討する課題と考えている。中学生の利用のあり方は、学校・保護者の意見を踏まえ、毎年検討し改善している。

模や複式学級というデメリットより、地域の教育力を生かしたメリットの方が大きいと考えている。今後小規模のデメリットを克服する教育を実践する。

# 人事案件

6月定例会で決まりました人事案件は次のとおりです。

## 人権擁護委員

【審議結果】適任 賛成17 反対0

**新任** 原 弘弥氏 (60歳) 吉田字欠ノ上古屋敷

# 意見書(2件)

基地対策予算の増額等を求める意見書

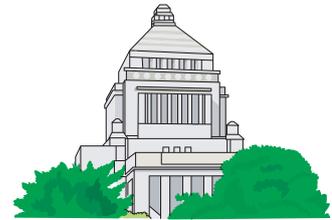
【審議結果】原案可決 賛成16 反対1

衆参議院議長、内閣総理大臣、総務、財務、防衛大臣に大和町議会議長名で提出しました。

生活再建に至らない東日本大震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める意見書

【審議結果】原案可決 賛成17 反対0

衆参議院議長、内閣総理大臣、財務、厚生労働大臣に大和町議会議長名で提出しました。



# 議会広報視察来庁

あいづばんげ  
福島県会津坂下町議会



新潟県村上市議会



本町の議会だよりの作成方法などを学ぶため、7月3日に福島県会津坂下町議会、18日には新潟県村上市議会の広報委員が視察に来られました。お互いに意見交換などを行い、大変有意義な研修となりました。

# 研修レポート

## 広報調査特別委員会

【視察地】石川県津幡町議会

【視察月日】5月16日〜17日

【視察者】伊藤勝委員長、藤巻博史副委員長

今野善行委員、門間浩宇委員

千坂裕春委員、浅野俊彦委員

【視察目的】よりよい議会だよりの作成のため、先進地を視察し作成技術を学びました。

津幡町は石川県のほぼ中央、人口3万7500人の金沢市に接する町。議会広報全国コンクールで毎年のように入選・入賞をし、昨年度は優秀賞であった。編集作業は本町の半分の約20日で行うため、議会前から編集会議を開いている。また、議会中にも編集会議を開いていた。質問の原稿は質問者が当日に提出し、写真も用意する。委員会の質疑は執行部の書記が記録しており、委員長の指示で要約があがってくる。広報の題字も小中学生の書道作品を使っている。町の広報と一緒に配布するのでバラバラにならないように無線と同じにしている。地方新聞にも議会の翌日に一般質問の写真と内容が報道されている。また、ケーブルテレビで議会を生中継し、加入率も40%とのことである。

### 所感

決まったことなら町の広報で済む。どういう議会であったか、議論があったかを議会だよりのベースにしているとのことであった。短期間で作成するため、議会前、議会中の編集作業、執行部の協力などしっかりした広報を作成していた。

報告者 藤巻博史副委員長



大和中学校 三年  
えんどう まま ゆ  
遠藤 真佑さん



大好き!!

大和町

宮床中学校 三年  
はやみりゆうせい  
早見 隆誠くん



誇りに思っています

今から数年前の夏、幼い私は家族と水田の上を飛び交う蛍を見ました。暗闇の中、淡い緑色の光がいたり、消えたりしながら、目の前を横切っていく。当時の私にとって、その光景はとても不思議で、なぜかとても嬉しかったのを覚えています。

今、私は中学三年生となり、自然とふれあう機会はほとんどなくなりました。

しかし、今でもあの時に見た光景はしっかりと頭に焼きつき、私に自然の美しさや生き物たちの命の尊さを感じさせてくれます。

私は、自然が豊かで、美しいこの大和町に生まれ、育ったことを誇りに思っています。

数年後、数十年後も、自然が豊かで、蛍がきれいなみんなが誇りに思える大和町であってほしいです。

いつだって、たくさん、大和町

僕は、今の大和町には良いところがたくさんあると思います。その中でも特に好きなのは、自然豊かで様々な自然の変化が見られるということです。

この大和町では、四季の変化が見られ七ツ森の色の変化なども色々見ることが出来ます。四季の変化を近くで見られるところが大和町の魅力でもあり、自分の中でも一番好きなところです。そして、この彩り豊か

な自然の変化があたり前のように見られるのは、とてもすごいことだと思います。これももし見られなくなった時、大和町の一つの良いところがなくなってしまうということなんです。ですから、これから新しい町づくりに励んでいく中でも、大和町の良いところは無くさず、また良いところは大切にして明るい町をつくりていきたいです。

……今回の表紙は……

7月9日の放課後子ども教室で、吉田小学校の子どもたちが七夕飾りを作りました。皆さん、それぞれのお願いを短冊に書き、笹竹に飾りました。願い事が叶うといいですね☆



編集後記

防災強化

震災以降、大雨や今まで経験したことがない突風などの「天変地異」が続きます。

心配された台風4号は県内にあまり被害を出さずに通過したようです。直後に「余震」もあり、なかなか気が抜けません。

6月議会でも、防災関係の質問が多く出されました。

全国からの心配と復興への期待に応え、町内の防災強化に力を入れたいものです。

広報編集副委員長 藤巻 博史

議会を傍聴してみませんか？

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。場所は役場3階です。

次回定例会は  
9月3日(月)から  
9月14日(金)までの予定です。

大和町議会事務局  
☎ 022-345-7506  
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報調査特別委員会

編集発行責任者

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 大須賀 啓 |
| 編集委員 |       |
| 委員長  | 伊藤 勝  |
| 副委員長 | 藤巻 博史 |
| 委員   | 今野 善行 |
| 委員   | 門間 浩宇 |
| 委員   | 千坂 裕春 |
| 委員   | 浅野 俊彦 |

